

# 名張市教育委員会事務の点検・評価報告書

平成26年 3月

名張市教育委員会

## 1. 事務の点検・評価

名張市教育委員会では、平成20年度より、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、「名張市教育委員会事務の点検・評価報告書」を作成しています。

事務の点検・評価は、平成24年度までは市が設置した名張市考査委員会が意見を付した事務事業について、改めて教育委員会で点検・評価を実施し、報告書を作成しておりましたが、平成25年度（平成24年度実績）より名張市考査委員会が休止となったことから、平成25年度の点検・評価報告書については、「平成25年度施策評価管理シート」を活用し作成しました。

このことから、平成24年度までの点検・評価対象は、個別具体の事務事業を対象としておりましたが、平成25年度は、個別具体の事務事業を含めた施策段階での点検・評価としました。

## 2. 市の行政評価

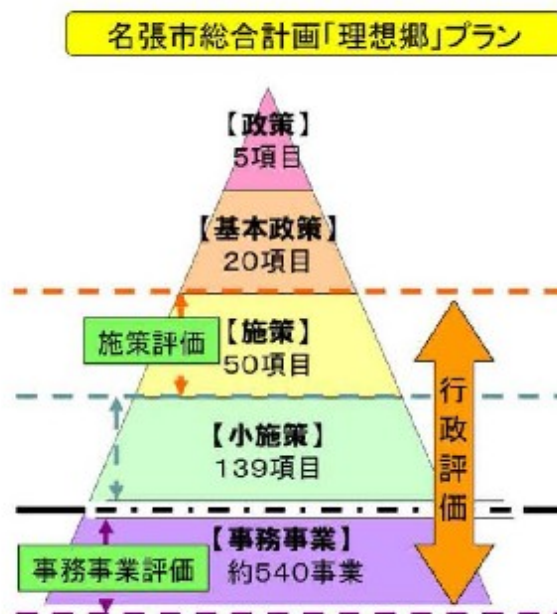
名張市は、行財政運営のマネジメントサイクルの一環として行政評価制度に取り組んでおり、名張市総合計画「理想郷プラン」後期基本計画に定める50の施策目標を実現するための施策段階を「施策評価」、また、この施策目標の実現手段である約540の事務事業の有効性、効率性を評価する「事務事業評価」の2段階の評価を実施しています。

評価にあたっては、施策目標として位置づけている指標に対する達成度、達成のための事務事業の進捗状況、方向性などを踏まえ、達成度や進捗状況などを評価しています。

また、評価は主担当部局長が行いますが、評価の客観性や透明性を高めるため、平成24年度より、施策評価に加え総合評価を実施しています。

総合評価は、主担当部局において作成した施策評価を基に、市民から寄せられた意見等を踏まえ、庁内で組織した「行政評価委員会」が評価をおこなったものです。

行政評価委員会は、施策評価の実効性と客観性を確保し、後期基本計画に基づく着実な施策推進に向けた共通認識と、そのことによる横断的な取組を推進するため、総合的な観点から各施策の評価及び今後の方向性を検討します。



### 3. 平成25年度（平成24年度実績）施策評価結果

総合評価は、「A 施策達成に向けた取組や今後の施策展開などが大変評価できる」、「B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている」、「C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる」、「D 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が不十分であり、改善の余地を多く残している」の4段階で評価され、C評価及びD評価の施策に対しては、行政評価委員会の意見が付されます。

教育委員会は、「学校教育」、「青少年健全育成」、「生涯学習」、「生涯スポーツ」、「市民文化」、「文化資源」、「文化交流」の7つの施策があり、平成25年度施策評価においては、B評価が4施策、C評価が3施策でした。

注) 各施策において、【施策指標（目標）及び達成状況】に示した進捗率については、施策指標（目標値）に対し、当該年度（実績値）が基本計画策定時（現状値）からどれだけ伸びているか（減っているか）指標の進み具合を下記計算式により数値化したものです。

$$\text{(計算式)} \quad \frac{\text{実績値(2011(平成24)年度)} - \text{現状値(2008(平成20)年度)}}{\text{目標値(2015(平成27)年度)} - \text{現状値(2008(平成20)年度)}} \times 100$$

---

---

#### 平成25年度 名張市教育委員会事務の点検項目

< 施策1 >	学校教育.....	3
< 施策2 >	青少年健全育成.....	8
< 施策3 >	生涯学習.....	10
< 施策4 >	生涯スポーツ.....	12
< 施策5 >	市民文化.....	14
< 施策6 >	文化資源.....	16
< 施策7 >	文化交流.....	18

< 施策 1 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし  
 基本施策 生きる力をはぐくむ教育の充実  
 施 策 学校教育

【基本方針】

- ・教育内容の充実を図るとともに、安全で快適な教育環境を整備します。
- ・時代の変化に対応して国際理解教育、情報教育等の充実と、特色ある教育活動や学校運営を進め、魅力ある学校づくりに取り組みます。
- ・家庭、地域、学校が連携して、地域ぐるみで子どもの可能性を伸ばし豊かな人間性を育む教育など、地域に開かれた学校づくりを進めます。
- ・学校の校区編制、規模の適正化や適正配置を推進します。
- ・障害のある児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばす教育を推進します。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
小・中学校の教育環境に満足している市民の割合（％）	目標					62.0	65.0	
	成果	59.2	57.5	59.6	60.2	59.4		3%
学校に満足している児童生徒の割合（％）	目標					90.0	92.0	
	成果	88.1	86.9	89.5	89.6	89.5		36%
不登校児童生徒の割合（％）	目標					1.4	1.1	
	成果	1.5	1.1	1.0	0.9	1.0		100%
支援の結果、登校できるようになった児童、生徒の割合（％）	目標					23.0	26.0	
	成果	15.0	34.2	14.3	33.3	10.4		0%
特別支援教育にかかる個別の指導計画を作成している児童生徒の割合	目標					30.0	50.0	
	成果	27.0	73.5	97.7	99.4	100.0		100%

### 【施策達成のための教育委員会事務事業】

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	「総合的な学習」推進事業	学校教育室	地域の特色を生かし聞取り学習、体験学習等を行う。	継続 (改善)
2	ふるさと学習充実事業	学校教育室	社会科副読本「わたしたちの名張市」を活用し、郷土の自然や文化、歴史に親しみ、郷土を愛する子どもを育む。	継続 (現行)
3	外国語活動実践研究事業	学校教育室	教材の配付、授業実践研究等により、小学校外国語活動の充実を図る。	継続 (現行)
4	学校支援ボランティア推進事業	教育センター	学校生活支援ボランティアの知識、経験や技能を生かし、学校教育の充実を図る。	継続 (拡大)
5	学校図書館教育充実事業	教育センター	モデル校を指定し、児童生徒への読み聞かせや学校図書館の整備、学校図書館の環境整備等の活動を行う。	継続 (拡大)
6	学校図書館運営支援員配置事業(緊急雇用創出事業:教育総務室)	教育総務室	図書データの入力や児童への読み聞かせなど学校図書館の活発な運営支援を図る。	H25完了 予定
7	学校保健事業	学務管理室	学校における児童生徒の健康の保持増進を図ることにより、学校教育の円滑な実施を図る。	継続 (現行)
8	基礎学力向上支援事業	学校教育室	標準学力調査を実施し、学力保障を図るとともに、新体力テストを実施し、体力向上の取組を進める。	継続 (改善)
9	生徒指導充実推進事業	学校教育室	市内全児童生徒にQ-U調査を実施し、居心地のよい学級集団づくりを進める。	継続 (現行)
10	特別支援教育体制整備事業	学校教育室	特別な支援が必要な児童生徒への有効な支援を充実させ、保育所・幼稚園から高校まで途切れない支援を行う。	継続 (改善)
11	名張市教育研究所研究事業	学校教育室	教職員研修講座及び保護者対象の講演会や相談業務を実施し、教育課題の解決を図る。	H24完了
12	小学校教育振興費(学務管理室)	学務管理室	理科、算数に関する教育設備の整備等により、良好な教育環境を整備する。	継続 (現行)
13	小学校教育振興費(学校教育室)	学校教育室	市指定教育研究推進事業の実施や文化的な教育活動の支援等により、市内小学校の教育の振興を図る。	継続 (現行)
14	中学校教育振興費(学務管理室)	学務管理室	設備備品、通学手段等の教育環境を整備し、円滑な学校教育の実施を図る。	継続 (現行)
15	中学校教育振興費(学校教育室)	学校教育室	クラブ活動や進路指導の充実、研究指定等の実施により、教育の質の向上を図る。	継続 (現行)

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
16	中学生地域ふれあい事業	学校教育室	職場体験活動を実施し、生徒の望ましい職業観、生徒の個性の伸長を図る。	継続 (現行)
17	教育フォーラム事業	教育総務室	教育関係者、保護者、地域住民が一堂に会し、市民みんなで子どもを育てるしくみの構築を図る。	継続 (改善)
18	教育センター運営支援員配置事業(緊急雇用創出事業)	教育総務室	教育センターに支援員を配置し、施設の管理運営を円滑に行う。	H25完了 予定
19	校区再編推進事業	教育総務室	学校の規模・配置の適正化により、集団活動の中での学びを促し、健康な心と体を育てる学習環境を整える。	継続 (現行)
20	奨学金支給事業(補助金含む)	学務管理室	奨学金の支給又は貸付を行い、地域及び社会に役立つ人材を育成する。	継続 (改善)
21	遠距離通学費補助金(小学校)	学務管理室	遠距離通学費の一部を補助し、保護者の経済的負担の軽減と対象児童の通学の安全を図る。	継続 (現行)
22	学校統廃合に伴う通学費補助金(小学校)	学務管理室	小学校統廃合に伴う通学費の一部を補助し、保護者の負担軽減を図る。	継続 (現行)
23	遠距離通学費補助金(中学校)	学務管理室	遠距離通学費の一部を補助し、保護者の経済的負担の軽減と対象生徒の通学の安全を図る。	継続 (現行)
24	学校統廃合に伴う通学費補助金(中学校)	学務管理室	中学校統廃合に伴う通学費の一部を補助し、保護者の負担軽減を図る。	継続 (現行)
25	小学校耐震改修事業(単独分)	学務管理室	計画的に耐震補強工事を実施し、避難所としての機能確保、地震発生時の児童の安全を守る。	継続 (拡大)
26	小学校耐震改修事業(補助分)	学務管理室	計画的に耐震補強工事を実施し、避難所としての機能確保、地震発生時の児童の安全を守る。	継続 (拡大)
27	(仮称)総合教育センター整備事業	学校教育室	市教育の中核的施設として整備し、学校、園、家庭等の教育力の向上を図る。	H24完了
28	小学校管理費(学務管理室)	学務管理室	学校施設の適切な維持管理を実施し、円滑な学校運営を図る。	継続 (現行)
29	中学校管理費(学務管理室)	学務管理室	学校施設の適切な維持管理を実施し、円滑な学校運営を図る。	継続 (現行)
30	教職員住宅管理費	学務管理室	遠隔地から赴任してきた教職員に住居を提供し、円滑な学校運営を図る。	継続 (改善)

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
31	教育委員会一般経費	教育総務室	教育委員会の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (改善)
32	事務局一般経費(教育総務室)	教育総務室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
33	事務局一般経費(学務管理室)	学務管理室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
34	事務局一般経費(学校教育室)	学校教育室	教育委員会事務局の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
35	教育振興一般経費(学校教育室)	学校教育室	各学校の円滑な運営と児童生徒活動の推進により、教育水準の維持・向上を図る。	継続 (改善)
36	小学校運営費	学務管理室	小学校の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
37	小学校管理費(学校教育室)	学校教育室	夏季休業中のプール監視補助員の配置等により、子どもの安全な学校生活を保障し、学校運営を円滑に行う。	継続 (改善)
38	小学校給食費	学務管理室	給食施設・設備の適切な管理運営を行い、安全安心な学校給食を提供する。	継続 (現行)
39	小学校教育用コンピュータ管理費	学校教育室	パソコン教育の環境を整備し、情報教育リテラシーの向上を図る。	継続 (拡大)
40	中学校運営費	学務管理室	中学校の円滑かつ効果的な運営を行う。	継続 (現行)
41	中学校管理費(学校教育室)	学校教育室	自立支援員の研修支援等により、学校の運営管理を円滑に行う。	継続 (改善)
42	中学校教育用コンピュータ管理費	学校教育室	パソコン教育の環境を整備し、情報教育リテラシーの向上を図る。	継続 (拡大)
43	幼稚園運営費	学校教育室	指定研究により小幼保の連携を含めた幼児教育の研究を実施し、就学前教育の資質向上に寄与する。	継続 (現行)
44	学校情報化推進事業	学校教育室	事務処理の効率化を図るとともに、教科指導へのICT機器の活用等により、教育の充実と学力の向上を図る。	継続 (拡大)

### 【教育委員会の評価】

- ・名張市子ども教育ビジョンに沿って、概ね順調に取組を進めています。
- ・特別支援教育にかかる個別の指導計画の平成24年度作成率は100%でした。引き続き保護者の理解を得て途切れのない支援を推進するとともに、パーソナルカルテを活用し個々のニーズに応じたきめ細やかな支援を行います。
- ・小・中学校の教育環境に満足している市民の割合、学校に満足している児童生徒の割合は、前年度比で微減ですが、学級満足度調査結果では、逆に微増となっており、一定の目標を達成できたと考えています。不登校の対応については、小学校1年をはじめとする低学年における不登校も新たな課題となっており、分析に基づいた取組を進めます。

### 【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている  
意見：なし

### 【施策の点検】

引き続き、名張市子ども教育ビジョンに沿って、学力・体力の向上、子どもの居場所づくり、途切れのない支援等、児童生徒の個々のニーズに応じたきめ細やかな取組をさらに進めていくとともに、学校ICTの充実、学校施設の耐震化や設備の維持管理、学校の規模・配置の適正化などを、児童生徒の教育環境を整備・充実するために計画的に進めていきます。

また、平成25年4月に開設した教育センターを活用し、専門的研究や情報提供及び教職員研修の一元化はもとより、家庭の教育力、地域の教育力向上のための研修の構築と充実を図っていきます。



< 施策 2 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし  
 基本施策 生きる力をはぐくむ教育の充実  
 施 策 青少年健全育成

【基本方針】

- ・家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成に取り組むことのできる環境づくりに努めます。
- ・青少年の自主的な活動や交流を支援するとともに、非行防止活動や相談体制を充実するなど、健全育成の環境づくりに取り組みます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
初発型非行数（件）	目標					70	60	
	成果	77	55	22	20	22		100%
青少年ボランティア数（人）	目標					50	56	
	成果	47	55	57	57	60		100%
放課後子ども教室実施回数【延べ値】（回）	目標					488	1,100	
	成果	22	88	146	201	280		24%
青少年の健全な育成に向けた取組が行われていると感じる市民の割合（％） <b>新規設定</b>	目標						45.0	H25 取組より評価対象
	成果				39.1	42.6		

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	放課後子ども支援事業	文化生涯学習室	放課後子ども教室を開催し、子どもの居場所づくりと健全育成を図る。	継続 (拡大)
2	成人式行事経費	文化生涯学習室	式典開催により、新成人に大人としての自覚を促し、責任ある行動、社会参画の意識の醸成を図る。	継続 (現行)

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
3	青少年健全育成事業	文化生涯学習室	非行防止、環境浄化活動により安心安全な環境づくりに取り組み、青少年の健全育成を図る。	継続 (現行)
4	青少年健全育成事業補助金	文化生涯学習室	青少年育成市民会議の活動を支援し、青少年健全育成活動を推進を図る。	継続 (現行)

### 【教育委員会の評価】

- ・青少年健全育成事業については、青少年育成市民会議の活動が年々充実しており、今後も関係団体・関係機関との連携を維持しながら、事業を継続していきます。
- ・放課後子ども教室事業については、国・県補助要綱に捉われず、多くの地域で実施されている子ども対象の事業を対象とできるように要綱の見直しを図り、事業の拡大、充実に取り組んでいきます。

### 【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている

意見：なし

### 【施策の点検】

青少年健全育成事業については、量や回数にとらわれることなく、質を重視した取組の検討を進め、引き続き地域、市民団体と協働して事業を実施していきます。

放課後子ども教室事業については、ボランティアの後継者不足が懸念されることから、ボランティアの育成に努めるとともに、地域の取組メニューを増やしていくことで、より多くの市民が参画できるよう進めていきます。

< 施策 3 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし  
 基本施策 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進  
 施 策 生涯学習

【基本方針】

- ・生涯学習のまちづくりを進めます。
- ・積極的な情報提供を行うとともに、多様化するニーズに対応して快適に学び続けることのできる学習機会や環境の充実に取り組みます。
- ・生涯学習を通して身につけた知識や情報、経験を地域や社会で生かすことができるよう、学校、ボランティア組織や福祉施設等との連携を強化します。
- ・高等教育機関との連携を強化し、施策や地域課題についての共同研究を通して地域との交流連携を促進します。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合（％）	目標					46.0	49.0	
	成果	42.3	43.6	43.0	41.0	41.7		0%
公民館のサービスに満足している利用者の割合（％）	目標					72.0	77.0	
	成果	66.9	85.6	91.9	86.5	88.6		100%
市民1人あたりの年間公民館利用回数（回）	目標					3.6	3.8	
	成果	3.1	3.3	3.5	3.4	3.4		43%
市民1人あたりの年間図書貸出冊数（冊）	目標					6.4	6.8	
	成果	6.1	6.7	6.9	7.1	7.4		100%
年度内に図書の貸出を利用した市民の割合（％）	目標					16.5	17.0	
	成果	15.6	15.9	15.8	15.7	15.3		0%
公民館における家庭教育講座の講座数【延べ値】（講座）	目標					56	96	
	成果	10	21	33	43	60		58%
高等教育機関と共同実施した事業数【延べ値】（件）	目標					6	15	
	成果	0	1	2	3	6		40%

### 【施策達成のための教育委員会事務事業】

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	学校支援地域本部事業	文化生涯学習室	事業の実施により、学校・家庭・地域が一体となり教育活動を推進し、学校を支援するしくみの構築を図る。	継続 (拡大)
2	生涯学習推進事業	文化生涯学習室	人材の育成や家庭教育等、重要課題の学習機会を提供し、公民館活動や地域組織活動の充実を図る。	継続 (現行)
3	なばり本の帯コンクール事業	図書館	本の帯作りを通して、小中学生の読書活動の推進を図る。	継続 (現行)
4	図書館運営費	図書館	資料(書籍)を収集・整理し、市民の利用に供し、市民の学習機会保障と文化の発展を図る。	継続 (拡大)
5	図書館管理費	図書館	施設及び設備を適切に維持管理し、利用者の利便向上を図る。	継続 (現行)
6	社会教育総務一般経費	文化生涯学習室	社会教育委員の審議機能を強化し、公民館並びに社会教育団体への支援を行うことで、生涯学習の振興を図る。	継続 (現行)

### 【教育委員会の評価】

- ・各地区公民館との共催方式を採用したことにより、高等教育機関との連携、公民館の活性化、市民の学習ニーズに応えられるなどの効果がありました。
- ・講座修了生が、各地域で活躍できるシステムづくりを検討します。
- ・資料の貸出、レファレンス、移動図書館の運行など図書館サービスの提供を通じて、学習や仕事、娯楽など生活の様々な場面で市民の情報ニーズに応えました。

### 【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている  
意見：なし

### 【施策の点検】

各地区公民館との共催や高等教育機関との連携の強化などにより、引き続き60歳未満世代の参加促進に努めます。

地域で活躍できる人材育成を進めるとともに、生涯学習の成果をまちづくりやボランティア活動に生かすことができるよう、受講者の自主的な活動への発展をサポートするとともに、生涯学習講座メニューの充実を図り、幅広い分野での参画を促進します。

また、市立図書館では、赤ちゃんからお年寄りまで市民の幅広いニーズに応えられる資料の選択と収集に努めます。

< 施策 4 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし  
 基本施策 豊かな心をはぐくむ生涯学習の推進  
 施 策 生涯スポーツ

【基本方針】

- ・スポーツ関係団体や地域との連携を図り、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。
- ・ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備、民間施設の活用等も含めた整備計画を策定し取り組みます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合（％）	目標					40.0	43.0	
	成果	36.5	37.5	39.7	40.6	38.0		23%
スポーツリーダーバンク利用回数【延べ値】（回）	目標					125	260	
	成果	15	15	15	15	39		10%
市民1人あたりの年間体育施設利用回数（回）	目標					5.5	6.0	
	成果	5.0	5.1	4.8	5.1	4.8		0%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	スポーツ活動振興費	市民スポーツ室	スポーツ活動振興事業の実施により市民の体力向上、健康の保持・増進を図る。	継続 (改善)
2	総合体育館等耐震改修事業	市民スポーツ室	名張市総合体育館の耐震補強整備を行い、利用者の安心安全を確保する。	H25完了 予定
3	市民野球場改修事業	市民スポーツ室	市民野球場の改修により、利用者の安全を確保するとともに、競技環境の向上を図る。	H24完了
4	武道交流館いきいき管理費	市民スポーツ室	指定管理者による管理・運営及び維持修繕の実施により、利用者の利便向上を図る。	継続 (現行)

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
5	体育施設管理費	市民スポーツ室	指定管理者による管理・運営及び維持修繕の実施により、利用者の利便向上を図る。	継続 (現行)
6	保健体育総務一般経費	市民スポーツ室	スポーツ推進委員の活動支援及び研修会の実施等により、スポーツ活動の充実を図る。	継続 (改善)

### 【教育委員会の評価】

- ・各行事に対する参加者数は前年より増加しており一定の成果が得られました。
- ・平成24年度は、市民野球場のネーミングライツを導入するなど、財源を確保し施設の整備を進めました。今後も引き続き財源確保策の研究を進め、施設整備計画の具現化を進めていきます。

### 【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる。

意見：市民がスポーツに親しめるよう、さらに積極的な情報発信や取組が必要である。

### 【施策の点検】

各種団体の育成、指導、強化を引き続き実施し、「いつでも・だれでも・いつまでも」という生涯スポーツの理念に沿った事業を展開し、全市民がスポーツ活動を継続的に行い、健康的な生活を送れるよう事業の推進に努めます。

また、スポーツ行事への参加や生涯スポーツ活動について、特に若年層において、スポーツ離れの傾向が見られます。あわせて、スポーツ団体の構成メンバーの高齢化も進行し、大会運営や団体運営に影響がでてきています。

将来の市民スポーツ活動を充実させるためにも、より一層の情報発信に努めるとともに、若年層が積極的に参加、参画ができる環境構築を進めます。

なお、施策指標(目標)のうち、「市民1人あたりの年間体育施設利用回数(回)」が進捗率0%となっていますが、平成24年度には利用者の安全確保のため市民野球場改修事業を実施し、また、学校体育施設についても耐震工事により、施設が利用できない期間があり、利用者が減少したことから施策目標を達成できませんでした。

今後も集中的な学校耐震工事により施設を使用できないことによる、利用者の減少が想定されます。

< 施策 5 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし  
 基本施策 市民文化の創造  
 施 策 市民文化

【基本方針】

- ・「名張らしさ」が息づく魅力ある市民文化を育み、心豊かな交流が広がる質の高い暮らしを創造します。
- ・「能楽のふるさとづくり」を目指し、伝統文化の伝承・発展や自主的な文化活動を積極的な支援と、人材の発掘や育成に努めます。
- ・名張の文化を積極的に発信するとともに、全国の多様な地域との豊かな文化交流に努めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
1年間に1回以上、文化・芸術を鑑賞したことのある市民の割合（％）	目標					53.0	54.0	
	成果	49.6	54.2	51.5	49.4	50.1		11%
美術展示会出展数【延べ値】(点)	目標					1,172	1,892	
	成果	230	433	633	841	1,020		48%
青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館の入場利用者数【延べ値】(人)	目標					222,000	360,000	
	成果	44,288	79,295	122,608	163,144	210,349		53%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	ふるさと能文化振興事業	文化生涯学習室	名張能楽祭の実施や子ども狂言の会の支援を通じて、伝統文化の伝承・発展を図る。	継続 (改善)
2	美術展覧会経費	文化生涯学習室	市民に、創作活動の発表と鑑賞の機会を提供し、芸術文化への関心を高める。	継続 (改善)
3	乱歩狂言公演事業	文化生涯学習室	名張市企画の創作狂言である乱歩狂言公演の開催により、名張文化の全国発信を図る。	H24完了

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
4	旧市民・観阿弥公園施設管理費	文化生涯学習室	旧総合市民会館と観阿弥ふるさと公園の適切な維持管理を行い、利用者の利便向上を図る。	統合検討
5	文化施設管理費	文化生涯学習室	文化施設の適切な維持管理を行い、入館者の利便向上を図る。	継続 (改善)
6	青少年センター管理費	文化生涯学習室	青少年センターの適切な維持管理と、文化芸術の鑑賞機会の提供により市民文化の向上を図る。	継続 (改善)
7	文化振興費	文化生涯学習室	市民文化祭及び市美術展覧会を開催し、創作活動の発表及び鑑賞の機会を提供し、市民の芸術文化への関心を高める。	継続 (改善)

### 【教育委員会の評価】

- ・能楽振興や市美術展の開催等の文化振興については、なばり夏能を組み替えて乱歩狂言の導入等、親しみやすい環境づくりに取り組みました。
- ・生涯学習と連動した各地域の公民館講座を結んだ「市民大学講座なばり学部」の開設などを通じて、地域の文化を担う人材育成に努めました。

### 【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている  
意見：なし

### 【施策の点検】

アドバンスコープA D Sホール（青少年センター）については、平成24年度に指定管理者の公募を行いました。応募者がありませんでした。平成26年度までは教育委員会で管理運営を行うとともに、平成27年度指定管理に向けて、指定管理者制度の運用について検討を進めます。

文化振興については、名張能楽祭や市美術展について、市民により身近で親しまれるイベントとなるよう見直しを進めるとともに、生涯学習と連動した公民館講座等の拡充を推進し、市民文化を担う人材育成に取り組めます。

また、文化施設の老朽化が進んでいることから、計画的に改修を進めます。



< 施策 6 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし  
 基本施策 市民文化の創造  
 施 策 文化資源

【基本方針】

- ・文化遺産や地域資源を市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。
- ・地域で育まれた文化遺産等の地域資源を保存、活用し、文化の薫る魅力的で活力あるまちづくりに取り組みます。
- ・文化財に対する理解を深めるため、イベントの開催などを通じて文化財や文化的資源にかかる情報提供を進め、各種団体の活動を支援します。
- ・貴重な歴史、文化等を後世に継承するため名張市史の編さんを進めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
名張の歴史を知っている市民の割合(歴史テスト認知率)(%)	目標					42.0	43.0	
	成果	38.4	32.6	33.6	32.9	34.4		0%
夏見麩寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数【延べ値】(人)	目標					3,700	6,700	
	成果	497	797	907	1,157	1,516		16%
歴史講座等を通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合(%)	目標					72.0	73.0	
	成果	71.0	60.2	70.0	71.0	71.0		0%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	埋蔵文化財発掘調査事業	文化生涯学習室	開発事業に伴う、埋蔵文化財の発掘調査事業を行い、文化財の保護を行う。	H24完了
2	文化財保護活動事業 (緊急雇用創出事業)	文化生涯学習室	文化財資料を、データ化し公開することによって、文化財の活用を図る。	H24完了
3	赤目の峡谷復旧事業	文化生涯学習室	平成25年1月の大雪による赤目渓谷内の災害を復旧し、良好な景観を提供する。	H25完了 予定

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
4	文化財保護費	文化生涯学習室	指定文化財の保護及び史跡の維持管理を行い、後世に伝えるとともに、地域のシンボルとして活用を図る。	継続 (改善)

#### 【教育委員会の評価】

- ・ 史跡整備や市史編纂事業など、規模が大きな事業の推進にあたって、財源、人的な確保が困難な状況から、計画が先送りの状況になっていますが、文化財施設の活用については、新たな資源を加えて、さらなる活用を図りました。
- ・ 文化財の指定については、所有者の同意が得られにくく、指定件数の増加には至っていませんが、国の登録文化財は市民団体の協力を得て、まちなかの初瀬街道沿いを中心として着実に登録を増やしています。

#### 【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる

意見：文化資源の保全、活用の具体的な方策を明らかにし、市民が身近に触れ合えるような環境づくりや地域づくりに取り組むべきである。

#### 【施策の点検】

郷土資料室及び資料の利活用については、郷土資料室の移転整備も含め、検討を進めます。

各地域ビジョンに掲げられている文化遺産の活用については、地域と協働して進めて行きます。

また、文化財保護は、専門的な知識を要する人材が必要であることから、事業推進とともに人材育成に取り組みます。

< 施策 7 >

政 策 心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし  
 基本施策 市民文化の創造  
 施 策 文化交流

【基本方針】

- ・名張の文化を積極的に発信し、全国の多様な地域との豊かな文化交流を進めます。
- ・外国人旅行者や在住者が、住みやすく、活動しやすい情報提供を進め、市民公益活動団体等とのネットワークを充実します。
- ・名張固有の文化等の情報発信を通し、世界の多様な地域や人々との交流を広げるなど世界に開かれたまちづくりを進めます。



【施策指標（目標）及び達成状況】

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
名張の文化を広く市外に発信したいと考える市民の割合（％）	目標					58.0	60.0	
	成果	55.5	60.2	52.9	60.5	60.7		100%
指差し会話集の数【延べ値】（件）	目標					17	20	
	成果	13	13	13	13	13		0%

【施策達成のための教育委員会事務事業】

No.	事務事業名	担当室名	概要及び目的	今後の方向
1	小学校ALT派遣事業	学校教育室	小学校専属外国語指導助手を派遣し、コミュニケーション能力の育成及び国際理解教育の充実を図る。	継続 (現行)
2	中学校ALT派遣事業	学校教育室	中学校外国語指導助手を派遣及び小中連携により、聞く・話す力の育成、コミュニケーション能力の育成を図る。	継続 (現行)
3	日中スポーツ友好交流事業	市民スポーツ室	中国・蘇州市とスポーツ友好交流を通じて、国際的視野を広めさせるとともに相互理解と友好交流を深める。	継続 (現行)

### 【教育委員会の評価】

- ・平成24年度には、名張市のオリジナルである「乱歩狂言」を宮城県塩竈市、東京都豊島区で公演するなど、名張市の情報発信ができました。
- ・韓国京畿道ユネスコ協会との文化交流事業を、名張ユネスコ協会と協働し取り組み、若年層の国際交流を図ることができました。

### 【行政評価委員会の総合評価及び意見】

評価：C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる

意見：乱歩や能楽などの文化資源についての情報発信や交流にさらに積極的に取り組むべきである。

### 【施策の点検】

平成25年度に東京都豊島区で開催された伝統芸能祭に「名張子ども狂言の会」が出演するなど、市外、県外への名張市文化の情報発信に努めてきたところですが、今後も引き続きの情報発信を進めていくとともに、名張市のオリジナルティを発揮できるような資源、たとえば斎王や忍者等を活用し、都市間交流を積極的に進めていきます。

また、市民活動団体等との連携を強化し、地域の文化を広く発信するとともに、交流を進めていきます。